

平成 26 年 6 月 10 日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NoviFlow は、Interop Tokyo において、

OpenFlow スイッチで高いパフォーマンスの転送能力をデモ

～新規ソフトウェアにより、従来の 2.5 倍の flowmods/秒を達成し、レイヤ 4-7 ベースのフロー管理を提供～

記

高性能な SDN および OpenFlow ベースのスイッチング・ソリューションのリーディングプロバイダ NoviFlow 社は、本日、6 月 11 日から幕張メッセで開催される Interop Tokyo SDI ShowCase において、2,500Flowmods/秒という OpenFlow スイッチでは他に例を見ないデモを実施すると発表しました。従来の NoviSwitch 1248 および 1132 では、1,000Flowmods/秒を提供していましたが、ネットワークプロセッサをベースとした NoviSwitch に、新規のソフトウェアをアップロードするだけで、2.5 倍のパフォーマンスを提供することが可能になりました。

また、同じく Interop SDI ShowCase において、OpenFlow 実験者機能のデモも行います。NoviSwitch 上で DPI (Deep Packet Inspection) 機能を実装することにより、Packet Payload(L7 ヘッダ)に基づいたフロー管理が可能になりますので、VoIP/VoLTE 等のセンシティブな Traffic への QoS 向上などが利用例として考えられます。

NoviFlow の社長兼最高経営責任者 (CEO) であるドミニク・ジェドソンは以下のようにコメントしています。

「高性能 L4-L7 ベースのパケットインスペクションとフロー管理は、アプリケーション層とコントロール層がトランスポート層で搬送されたデータと相互作用する状況を一変させ、SDN (Software Defined Network) の可能性を高めます。市場をリードする OpenFlow コントローラと協業する弊社の先駆的な製品が SDN が目指すネットワーク環境の実現を促進します。」

NoviFlow 社が提供する NoviWare 250 ソフトウェアを搭載する NoviSwitch 1248 および 1132 は、OpenFlow 1.3 標準サポートが業界でもトップクラスです。

- ・ OpenFlow 1.3 actions, instructions および matching fields
- ・ Pipeline 当たり複数のテーブルサポート
- ・ グループハンドリング
- ・ PBB (プロバイダ・バックボーン・ブリッジング)

今回のデモを担当する株式会社ネットワークバリューコンポネンツ代表取締役社長渡部進は以下のようにコメントしています。

「大容量を実現する OpenFlow スイッチは、大きな可能性を持っています。拡張性や豊富な機能を提供する SDN、クラウドおよび NFV (Network Functions Virtualization) ソリューションにおいてキーとなると信じていますし、NVC がこのような高い需要を喚起するマーケットに対して NoviFlow 製品を提供できることをうれしく思っています。」

以 上